

祭 事 暦

9月1日 午前8時30分
 月 次 祭
 9月19日 午前10時 商工祈願祭
 献灯奉告祭
 例祭前日祭
 午後1時 流鏝馬神事
 午後2時
 9月20日 午前10時
 例 祭
 9月22日 午後1時
 末社御祖神社例祭
 9月29日 午前10時
 末社宮山神社例祭



発行所
 寒川神社社務所

〒253-0195
 神奈川県
 高座郡寒川町宮山3916
 電話 代表0467(75)0004

編集者 水谷 智 賢
 印刷所 樹さんこうどう



鎮守の森

祝い事はうれしい。祝うほうも祝われるほうも幸せな心持ちになれる。万国共通、全ての人にとって身近な祝い事といえば誕生日。親にとっては一年間の無事と成長の祝いであり、子供にとってはまた一つ大人になった喜びがある。「おめでとう」「ありがとう」の言葉は親子に限らず、誰に言われてもほっこり心温まり嬉しいものだ。九月二十日に斎行される御例祭は、一年の豊作を祈願する春まつり祈年祭、一年の五穀豊穡と産業の発展を感謝し奉告する秋まつり新嘗祭とともに三大祭といわれるが、その中でも特に重要な祭典とされる。一分一秒三六五日休むことなく、変わることなく私たちを見守ってくださる大神様へ、氏子崇敬者皆が一斉に感謝を伝え更なる繁栄を祈る祝いの祭典である。神賑行事として献茶・献花・奉納演芸などがあり、境内は賑々しく祝賀ムードに包まれ沢山の笑顔が溢れる。十九日に斎行される寒川神社の流鏝馬神事は、鎌倉時代より続く神事といわれ、武田流一門によって天下泰平・五穀豊穡を祈念し奉納されている。八〇〇年を超える「時」の重みと、人々がバトンリレーの如く繋いできた大神様への感謝と祈りの心。自分もその一片になれる事の有難さや胸が熱くなる。御例祭では、私たちが感謝と敬意を神様に伝えることで、神様もきつとにここにこと微笑んで喜んで下さっていると思う。笑う門には福来る。あなたが笑えば神様も笑い、神様が笑えば福が来る。「神人和楽」神と人と仲よく楽しみパワーを充電して和やかに心穏やかに過ごして頂きたい。蟻の思いも天まで昇るといふ。誰であっても真心をもって明るく正しく一生懸命に生きてさえいれば、感謝の心は必ず伝わる。

(伊藤 綾子)



遷宮で結ぶ人の輪心の輪
 第六十二回神宮式年遷宮

古事記編纂一三〇〇年記念

「平野啓子語りの世界へ天・空・宙へ」開催

本年は、現存する日本最古の歴史書『古事記』が編纂・撰上されてより、一三〇〇年を迎える年となります。

『古事記』は、天地の初めから始まり、国土の形成、天孫降臨、日本国の建国等、歴史的事実が下地となり、美化し神聖化され、神々の物語として作り固められたもので、登場する神々は全国の神社にて御祭神として祀られ、今日まで日本の精神文化と宗教文化に多大な影響を与えています。しかし、日本人にとって国の誕生を語り、民族の誇りを語る最も大事な部分は、現在青少年の教育の場から抜け落ちたままになっております。

そこで、当社社では『古事記』編纂撰上一三〇〇年を記念し、日本はじまりの物語『古事記』の魅力にふれ、「神話」を身近に感じとって頂こうと語り部・カタリストの平野啓子氏による「神話と古伝説の語り」を開催することとなり、去る八月十四日、内庭に特設舞台をつくり、開催させていただきました。



熱演する平野啓子氏

当日は、朝から雨模様で境内での開催が心配されましたが、平野先生は「是非とも寒川の神様の御前にて神話を語りたい」と希望され、

天気予報も午後から晴れると予測されていたため境内での開催を決定しました。結果は先生の祈りが天に届いたのか雲一つ無い快晴となり、心地よい風が吹く最良の状況で一三〇〇名を越す大勢の方々が観賞される中、開く事ができました。午後六時、大太鼓により、開催が知らされると平野先



「人長舞」奉奏



「御池物語」より

生が登場 第一部として、寒川神社の起源ともされる「難波の小池」にまつわる伝説を「御池物語」として、また、日本最古の物語とされる「竹取物語」を披露して頂きました。

その後は当社社神職と巫女により、神楽舞「人長舞」「豊栄舞」が奉奏され、本



「豊栄舞」奉奏

公演を奉祝致しました。第二部では「面白すぎる古事記・恋する神様」と題し、古事記の冒頭からヤマタノオロチの後までを原文と現代語訳を交え、解かりやすく楽しく、尺八との掛け合いで語り伝えて頂きました。

最後には、難波の小池伝説でも語られた仁徳天皇の恋話もサプライズとして登場し、ご覧になられた方々からも「神話が現在まで生き続けている事が認識できるいい企画だった」「大変解かり易く素晴らしかった」とお褒めの言葉も頂き大盛況のうち幕を閉じることが出来ました。





終戦記念日の八月十五日、先の大戦において祖国の平和を願いつつ尊い命を捧げられた英霊への慰霊と世界の恒久平和を祈り、「相模薪能」が開催されました。境内に設けられた特設会場に詰めかけた一六〇〇名の鑑賞者は、能楽師による幽玄の世界を堪能いたしました。

第四十三回 相模薪能開催 戦没者の慰霊と恒久平和を祈る

真夏の太陽が西の空へと傾き、ヒグラシの音が境内に鳴り響く頃、この薪能の開催を御神前に奉告する祭事が本殿で行われ、舞台が被い清められました。

その後「火入れ式」が行われ、舞台を照らす篝火に神火が灯されると、奉行の茅ヶ崎市長服部信明様、副奉行の茅ヶ崎商工会議所会頭中賢三様、寒川町商工会会長島村繁様により開会宣言である「僉議」が行われ、演能に入りました。



僉議



能「三輪」

今年、「古事記」が編纂・撰上され一三〇〇年を迎える事もあり、古事記神話を典とする能「三輪」「小鍛冶」の二曲が中森貴太・観世喜正・殿田謙吉各氏等により演じられました。



狂言「苞山伏」

狂言は「苞山伏」が演じられ、苞が風にあおられ舞台上に落ちてしまった八ブニングをアドリブでユーモアたっぷりに表現する野村萬斎氏の姿に、大きな笑いが沸き起こる等、今年の相模薪能も盛況のうちに終演を迎えました。



能「小鍛冶」

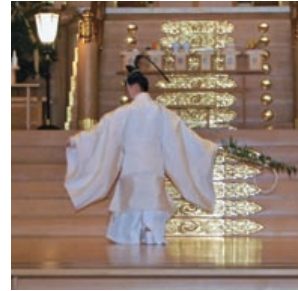


能「小鍛冶」

明治天皇百年奉告祭齋行

本年は、近代日本の礎を築かれました明治天皇が崩御されてより百年を迎える年となります。

明治の御代は、国内の改革を始め、列強諸国との関係等、国家存亡の危機が数次あり、明治天皇の御親政により、国民一体となり難



「朝日舞」奉奏

明治天皇百年奉告祭を齋行致しました。

当日は、明治天皇の御製に振付け、作曲された宮司舞「朝日舞」が奉奏されたほか、早朝にもかかわらず責任役員、総代を始め拝殿を埋め尽くすかの如く参列された大勢の氏子・崇敬者により、国歌「君が代」が声高々に斉唱されました。

問に立向かった時代でした。

崩御日である七月三十日には、皇居内の皇霊殿と伏見桃山陵で明治天皇百年式年祭の儀が執り行われ、また、明治天皇を祀る明治神宮、北海道神宮では、畏き辺りよりの幣帛を奉り祭典が齋行されました。当神社におきましては、その聖徳を慕い仰ぎ去る八月一日



国歌「君が代」斉唱

平和の塔「和光」にて 平和祈願祭執行


寒川神社の末社である宮山神社の境内には、終戦二十年の節目に宮山住民の総意により建立された平和の塔「和光」があり、永遠なる平和が誓われています。

この平和祈誓の塔の前では、終戦記念日である八月十五日の正午、平和祈願祭が厳肅に執り行われます。



当日は、責任役員、正副総代長、宮山自治会役員を始め、地元宮山の方々の参列のもと、戦没者に慰霊の黙祷を捧げた後、世界の恒久平和が祈念されました。また、今年は神社実習生も初めて参列をし、「今こ

こに生かして頂いている事は、尊い生命の礎があつてからこそ」を改めて自覚し「国の隆昌と世界の共存共栄を祈る」という事がいかに重要か認識して頂きました。



祝祭日には
国旗を掲げましょう

今月の祭事

◎ 九月十九日(水)

商工祈願祭並献灯奉告祭

午前十時

例祭前日祭

午後一時

流鏝馬神事

午後二時

◎ 九月二十日(木)

例祭

午前十時

寒川大明神の由緒ある日で、御神徳を讃え日頃の御神恩に感謝する祭典です。

◎ 九月二十二日(土)

安藤由勝大人命他慰霊祭

午前十時

明治初期に、当社社の神職・社僧であった方々の慰霊祭を神式と仏式の両方で奉仕致します。

末社御祖神社例祭

午後一時

寒川神社御祖講の方々の祖先の御霊をお祀りする例祭が執り行われます。

◎ 九月二十九日(土)

末社宮山神社例祭

午前十時

宮山町内の氏神様に日頃の御神恩を感謝する祭典です。

寒川神社商工奉賛会

第三十九回

総会記念高座のご案内

落語家「春風亭柳之助」

入場無料

日時 九月十九日(水)

午前十一時半から

場所 寒川神社参集殿

※お問い合わせ

寒川神社商工奉賛会事務局

☎〇四六七(七五)〇〇〇四

(寒川神社内)

一般の方のご来場をお待ち申し上げます。

奉納演芸大会のお知らせ

日時

九月十九日(水) 午後六時から

カラオケ大会

九月二十日(木) 午後二時から

舞踊大会

場所

第一駐車場南側

雨天時

十九日：寒川神社少年館

二十日：寒川神社参集殿

皆様のお越しをお待ち申し上げます。

境内整備事業

「太鼓橋改築」

工事奉賛者芳名

左記の方々より赤誠溢れるご奉賛を賜りました。
誌上より厚く御礼申し上げます。



【平成二十四年七月奉賛者】(順不同・敬称略)

- 一万円 宮島 栄一 東京都世田谷区
- 〃 両谷 裕己 埼玉県草加市
- 〃 松岡 勇 埼玉県越谷市
- 〃 先崎 春美 厚木市妻田東
- 〃 生長の家神奈川教区青年会 大和市中央
- 〃 井上 貞子 藤沢市湘南台
- 〃 大石 照三 千葉県千葉市

祭礼提灯の幹旋について

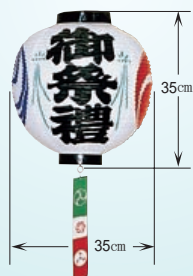
寒川神社商工奉賛会では、祭礼提灯の幹旋を行っております。

寒川神社商工奉賛会

☎ 〇四六七(七五)〇〇〇四

価格一灯 三、〇〇〇円

玄関先に掲げ、お祭りをお祝い致しますよう。



◆ 國學院大學 皇學館大學 指定神社実習受入れ

八月十二日より十八日にかけて、将来神職を目指し勉学に励む、國學院大學・皇學館大學の学生七名を受け入れて行う指定神社実習が、当社社にて実施されました。この実習は、神職の資格を取得するにあたり、神社の御社頭にて実際に奉仕することで、神職としての心構えや自覚を体得することを目的に行われるもので、期間中は毎朝の国旗掲揚、境内清掃から始まり、祭典奉仕、実務実習、宮司講話、楔実習、施設見学等、多岐に亘って行われました。

実習生の今後の活躍を期待しております。



閉講奉告祭に臨む実習生

第四十五回 写真展作品募集のご案内

- 開催期間 平成二十四年十一月十日～十一月二十三日
- 展示会場 寒川神社境内
- 題材 寒川神社に関係のある未発表の作品
- サイズ 白黒カラー：四ツ切または六ツ切(ワイド可) 一人五点以内
- 出品点数 平成二十四年十一月～十月三十一日
- 応募期間 宮司賞・金賞・銀賞・銅賞 他特別賞多数
- 表彰式 平成二十四年十一月二十三日
- 入賞発表 平成二十四年十一月月上旬(入賞者へ直接通知)
- 作品の裏に住所・氏名・電話番号・撮影年月日・画題を明記のこと。
- 作品応募及び問い合わせ 寒川神社写真展係 ☎〇四六七(七五)〇〇〇四

◆ 「人形感謝祭」 齋行のお知らせ

当神社では、昨年末の人形奉斎殿の竣工以来、お納め頂いた人形に対する日々のお扱いは勿論、毎月一日に月毎の清被式を齋行して参りましたが、本年より「人形の日」に因み、十月十五日午前十一時より年に一度の「人形感謝祭」を齋行する事となりました。

日本には古来より、大切にされた人形には魂が宿るとの信仰があります。

今後、年間を通じて古人形を御納め頂けますが、是非この機会に御参拝下さいませよう、ご案内を申し上げます。

尚、人形奉斎殿の受付時間、人形納めの初穂料は次の通りです。

受付時間 九時～十六時
初穂料 一件 千円以上 思召し
但し、人形本体のみとし、ケース等はご遠慮願います。



◆ 大倉眞澄氏より色紙奉納される

日頃より当神社を崇敬され、ご参拝頂いている書家の大倉眞澄氏より色紙の奉納がございましたので、茲に披露、報告させて頂きます。



奉納された色紙

大倉眞澄氏 プロフィール

東京都出身 書家(雅号:陽月)
書画、画協会主宰
企業のカレンダー製作や絵葉書など多方面で活躍中。毎年、東京銀座「ぎやらい美庵」にて個展を開催。著書に詩画集『時代のとび』第1集・第2集・第3集がある。

寒川病院だより

☎0467(75)6680 寒川町宮山193
<http://www.samukawabyouin.com>



婦人科検診を受けましょう

【地域の乳がん・子宮がんをゼロに】を目標にして、当院では新たに最新型フルデジタルマンモグラフィ装置を搭載した乳がん検診車と、医師の内診・子宮細胞診検査が出来る子宮がん検診車を導入し、自治体・企業・各種団体の皆様のご希望の場所で、婦人科検診を実施することが可能になりました。

日本では婦人科検診率が低く、特にマンモグラフィ検診率は2%と先進国の中でも最も低くなっております。また、子宮がん検診においても検診率は低く、二十四%(二〇一〇年)足らずにとどまっております。

乳がんは早期発見・早期治療を行うことで、他のがん比べて治療しやすいです。自己検診を心掛ける習慣も必要ですが、マンモグラフィで自己検診では発見出来ない程の微細ながんを確実に見つけることが早期治療につながります。

子宮がんにおいても定期的な検診を受けることで、がんになる前の段階で診断することが可能です。

お忙しい皆様にとって乳がん・子宮がんを同時に検査することが可能な出張婦人科検診を是非この機会にご検討下さい。出張検診をご希望の自治体・企業・団体様は、お電話にてお問い合わせ下さい。お問い合わせ先

寒川病院総合健診センター
☎〇四六七 七五 六七五一



神前結婚式ご案内会

平成24年9月30日(日)

午前10時～午後4時

レストラン青葉食事券付き

※都合により催し内容が変更になる場合がございます。ご了承くださいませ。

- ◆ 衣裳美容相談 10:00～
- ◇ 記念写真プレゼント◇
- ◆ 挙式セミナー 11:00～
- ◆ 奉告の儀 11:20～
- ◇ 記念写真プレゼント◇
- ◆ 模擬挙式 12:00～
- ◆ 模擬披露宴 12:40～
- ◆ 各種相談
- ◆ カラーコーディネート
- ◆ 人力車試乗体験

随時
随時
随時



七五三衣裳大展示会

9月1日(土)・2日(日)・8日(土)・9日(日)

上記日以外にも衣裳展示有ります
ご来殿心よりお待ちしております
※衣裳室毎週火曜定休日

寒川神社参集殿 ご予約・お問い合わせは 0467-75-5555

◆青少年活動だより

この夏、ボーイスカウト・ガールスカウト・少年館の育成三団体では、初の合同での宿泊体験を実施致しました。

ボーイ・ガールが、五年に一度伊勢の神宮近辺を会場にして開催される神社スカウト全国大会に参加することに当り、少年館も発館三十五周年を記念して、この大会を見学することを目的の一つとし、錬成会を実施致しました。

最終日前夜には、利根育成会長も参加して、三団体合同キャンプファイヤーを行い、約一五〇名もの参加者が、一つの焚火を囲み、子供達のソングやスタンツ指導者の出し物で大いに盛り上がり楽しい一夜を共に過ごしました。

これまで互いに交流する機会が少なく、今回のように同一プログラムを組むことによって相手の立場を理解し合うことが出来たことは、子供達にとって大きな自信と協調する心が根付いてくれたことと思われま



B S 寒川 第二団
G S 神奈川 第四十五団

—— 第十一回神社スカウト全国大会参加 ——



鎮守の森を活動の場として育成されるボーイスカウト・ガールスカウト

トが、五年に一度、伊勢の神宮に集う「神社スカウト全国大会」が、八月七日より十日にかけて三重県総合競技場を主会場として開催され、当社で育成する



ボーイ全員集合

B S 寒川第二団・G S 神奈川第四十五団もこの大会に参加してまいりました。

第十一回となる今大会は、昨年開催される予定でしたが、震災の影響で開催が無期延期と危ぶまれる中、本年が全国神社スカウト協議会結成五十周年の節目の年であり、また、第六十二回式年遷宮を明年に控え、その奉祝記念行事として開催される運びとなったものです。



ガールスカウト スタンツ「世界へ」



閉会式大会の盛り上がり

「くりかえし力をいただく「遷宮」のスローガンの下、全国よりボーイスカウトが五〇団・ガールスカウトが十八団と海外から台湾の中国童子軍三〇名が参加し、約一六〇名ものスカウトが「心のふるさと」伊勢に集いました。

当日午前六時、当団B S 三七名とG S 十六名がそれぞれのバスに便乗して出発し、一路伊勢へと向かいました。バスの中で神宮について学んだり、ソングの練習をしながら、無事伊勢に到着し、午後三時からの開会式に臨みました。

育成3団体一挙集結



会宣言がなされ、大会の幕が開かれました。

大会では神宮参拝行進や五十鈴川での禊行、せんぐう館見学等様々なプログラムが催され、スカウト達は一生の思い出に残る様な素晴らしい時間を過ごしました。

閉会式では、全員で踊ったり、互いの持ち物を交換したりと、団や隊の垣根を越え、積極的に友情の輪を広げ、「五年後にまた会おう」と誓いをたて、幕が閉じられました。

大会を通じてスカウト達は神社スカウトとしての自覚を持ち、日本の伝統の重みをしっかりと心に刻むことが出来ました。



寒川神社少年館

盛りだくさんの夏季行事

夏季錬成会

例年一泊二日で実施してきた夏季錬成会も、本年は発館三十五周年を記念して二泊三日、八月九日より十一日にかけて、伊勢の神宮及び浜名湖方面に於いて実施した。

昨年より計画が進められてきた中、館生七〇名、指導者一四名、國大ボランティア学生九名の参加を得て、当日午前七時、一路伊勢を



内宮宇治橋前にて

目指して出発した。バスに揺られること七時間半、最初の目的地伊勢神宮外宮に到着。参拝後、この四月に開館した「せんぐう館」を見学。子供達は疲れも見せず調査指令書を片手に全館隈なく調査し、来年齋行される式年遷宮について学んだ。その夜には、今回の目的の一つである「神社スカウト全国大会大集会」を見学し、ボーイスカウト・ガールスカウト達の活動を一緒に楽しんだ。二日目は内宮参拝。五十鈴川で手を清め、樹齢千年以上の苔杉の生い茂る参道を進み、自然の偉大さと神々の存在を感じ取りながら神秘的な面持ちで参拝した。その後、おはらい町通りを散策し伊勢の名物を食べた後、フェリーに乗船した。途中イルカの出迎えを受けながら伊良湖岬へ到着し、再び浜名湖へと向かった。ホテルでは先に到着したBS・GSと合流し、その



フェリー上にてイルカを発見

夜合同のキャンプファイヤーを行なった。夜の帳が落ち始め、炎に照らし出される一人一人の子供達の顔には期待と不安が入り交じっていたが、楽しいスタンプにより次第に緊張もほぐれ、最後の館長・館生・スカウトによる「和」の火文字への点火の頃には、誰もが充実感に満たされた表情がとも印象的であった。最終日は、航空自衛隊浜松広報館を見学し、その後大井川鐵道のSLに乗り駅弁を食べながら車窓の旅を楽しんだ。今回も様々な体験をし、楽しい思い出をいっぱい積み



合同キャンプファイヤー

お泊り会

恒例のお泊り会を、本年は夏休みに入ったばかりの七月二十四日・二十五日、八二名の参加の下、実施しました。

今回は、相模川に生息する生き物の生態を学ぼうと相模川ふれあい科学館を見学し、様々な魚たちに触れたり水辺で遊んだり暑さを忘れて時間の限り楽しみました。

銭湯で汗を流し、神社の食堂で夕食を食べた後、國學院大學の研修生と火花を

▼相模川ふれあい科学館にて



秀作美術展見学

美術講座において、全国学校秀作美術展に応募した作品の授賞式が、七月二十七日に行われ、出品作品の見学を兼ね上野の東京都美術館に行った。

して一日目を終えました。翌日は恒例の興全寺さんでの坐禅体験に参加し、二十五分間、蝉の声だけが響く中静かに心を空っぽにしました？その後、手作りうちわを思い思いに作り上げ解散しました。初めて参加した一年生も高学年の館生と共に過ごせたことで、大きな成果が得られました。



表彰式

午前中は国立博物館を見学し、午後からの授賞式に臨んだ。今回五十二名の館生の作品の中から五名の館生が選ばれ、皆晴れやかに賞状と記念品を頂いた。

当館生の作品のほか、他の学校の作品も見学し今後の参考に出来たことと思われる。

【全国学校秀作美術展】
読売新聞社賞
一年 宇田川航基
日本美術教育連合賞
三年 鈴木 寿明
東京都美術文化協会賞
一年 櫻井 倅暉
三年 長友 涼太
三年 高橋 藍衣

心豊かでたくましい青少年の育成を目指し、教師や教育関係者が中心となり教育活動を行なっているまほろば教育事業団では、今回寒川神社少年館に於いて、八月三日より五日、三泊四日小学生合宿が開催されました。

先ず班編成が行われ新しい友達の紹介があり、正式参拝した後開会式が行われました。終了後早速、和歌作りの基本を学び、夜には県内神職による教化活動の一環として「天岩戸開き」「八岐大蛇」の神話の語り

NPO法人まほろば教育事業団主催
「第八回まほろば小学生合宿」開催さる
テーマ「古事記一三〇〇年心の宝物を見つけよう」



が催され、神話について学びました。その余韻を残しながら夜間参拝をし、静寂の神嶽山神苑を歩き、神様を感じ取りました。

二日目は早朝より、興全寺に於いて坐禅体験をした後、茅ヶ崎里山公園で野外活動を楽しみました。帰館後はこれまでの出来事を各々和歌にして詠み比べたり、両親への手紙等を書いて休みました。

最終日、三日間のまとめを行いその成果が閉会式で一人一人表彰され、また利根宮司より更なる活躍を願う挨拶が為され、充実した三日間の幕を閉じました。

今後それぞれの地域の子供たちに、心通う指導を通じて健全な青少年の育成を続けてもらいたいと願うものです。

人事

◆新採用
△寒川病院▽
事務職員 塚本喜代子
岩館 美和
寒川病院勤務を命ずる
平成二十四年九月一日
△神恵苑▽
△神恵苑 加瀬 美穂
介護福祉士
神恵苑勤務を命ずる

◆退職
△寒川病院▽
事務職員 安保 幸子
願いに依り職を免ずる
平成二十四年八月三十一日
△神恵苑▽
看護師 右田竜太郎
介護職員 角 詩織
願いにより職を免ずる
平成二十四年八月三十一日

神嶽山神苑

九月の行事案内



◆雨天中止
◆場所 神苑内石舞台において
◆入苑券を持参の上ご来苑下さい

◆神楽舞と雅楽の奉奏
◆九月二十日(木)午後二時のみ
◆九月二十三日(日)・三十日(日)
午前十一時と午後二時

医療講演会のご案内

とき 9月27日(木)
午後2時～3時

ところ 寒川神社 参集殿

内容 「せぼね」
にまつわる話題

講師 整形外科 医長
八十田 貴久

入場無料 申込不要
ご来場をお待ちしております。

0467-75-6680
寒川病院



店番も猫も年寄とこころてん
 秋暑し狂いしままの掛時計
 朝曇路地にくさやを焼く匂ひ
 百姓に定年はなし田草取
 夕焼けを使い果たして子等帰る
 自家製の味噌あればよし新生姜
 衰へはひよいと来てをり星涼し
 鬼やんま紙の音して交みけり
 湯のよつな汲み置き水や秋暑し
 退院の笑顔涼しく来られけり
 鬼灯を画き絵日記の終りけり
 蛸や木立を急ぐ通い巫女
 暑き街かきませて行く通り雨
 大山も歪んで見ゆる残暑かな
 枝豆の山を崩してテレビッ子
 勤行の声のもれくる朝曇
 終戦日十七歳の二等兵
 稲穂道青く匂える試歩の朝
 笹舟の風より軽く水の秋
 朝曇り乗り継ぐ風の無人駅
 言いそびれ聞きそびれたる残暑かな
 なつかしき干梅の香の部屋に満つ
 ひぐらしや学友の声聞こえけり



- 芹沢 徳光
- 金子 づち
- 相原 白路
- 根岸 君子
- 飛石 槿花
- 岩田美代子
- 山本 朝子
- 岡田風呂釜
- 菅沼 保幸
- 露木てる子
- 金指 月光
- 菅沼うめの
- 竹村真砂美
- 松本美智子
- 千葉 静香
- 市本 益子
- 皆川志んこ
- 四ツ車梢月
- 宮入 つる
- 伊藤 公一
- 倉谷 節子
- 三輪 恭子
- 松村 信篤

九月 手水舎奉掲

明治天皇御製

いつはらぬ 神のこころを うつつせみの
 世の人みなに うつつしてしがな



ふるさとの思いをのせて打ち直す息子等が作る新婚布団
 初曾孫の写メール届きぬ生れし日のお休み中のまんまる寝顔
 雲間から煌めく金環日食のリングの瞬間歓声あがる
 言葉には表さなくとも言いたきことすべてを察する快き人
 撫子の色あざやかに咲くを今朝テーブルに添え吾は楽しむ
 「東北へ来て下さってありがたう」ガイドの声に車内鎮まる
 老の鬱払わんと誦す般若心経 幼が鈴をたたきてくれる
 足直り一ヶ月ぶりに散策す田んぼに稲が一面続く
 下野草手にとり髪に挿してみる乙女心のよみがえりくる
 小雨降る軒に張られし蜘蛛の巣の水玉きらりきらりと光る
 波の間を浮ぶ茅ヶ崎えぼし岩見なれし景をこよなく愛す
 リハビリの窓より眺む早稲田は逞し忽ち青田となりぬ
 原莞の地に咲き満てる桜花幾多の思ひ鎮めてあれな
 病院の眼科の窓にみどりなすゴーヤのカーテン涼しげに見ゆ



- 山口 幸子
- 山根喜美代
- 亀山 文子
- 安藤 慧
- 川島恵美子
- 堀江 照子
- 宇田川時子
- 土屋トミ子
- 浜田 寿子
- 岡元 芳子
- 三留とく子
- 天利 春枝
- 杉本 照世
- 瀧本三重子

表紙写真説明



御神前に設けられた特設舞
 台にて、熱演する平野啓子氏

今夏 育成三団体合同でキャ
 ンプファイヤーを実施した。

子供等は今でもその時の事
 を楽しそうに語ってくれる。
 一生の思い出作りに参画出
 来た事は嬉ばしい限りである。

稽古照今

【けいこしょうこんく古(いにしへ)を稽(かむがへ)今に照らす】

九月十九日〔水〕・二十日〔木〕

十九日：午後一時 前日祭 午後二時 流鏑馬神事 二十日：午前十時 例祭

九月十九日〔水〕・二十日〔木〕両日

献茶 裏千家田津原社中

献花 千家古流森久保社中

献句 寒川俳壇

盆栽展 寒川町盆栽会

祭囃子 寒川町祭囃子保存会連合会

水石と美石展 湘南石同好会

奉納演芸 宮山総代

九月十七日〔月〕
柔道大会

※寒川総合体育館武道場 寒川町柔道協会

九月十九日〔水〕
落語

語「春風亭柳之助」

※寒川神社参集殿 寒川神社商工奉賛会

流鏑馬神事

大日本弓馬会

九月二十日〔木〕
剣道大会

空手道演武

寒川町剣道協会

万灯パレード

立正佼成会湘南教会

神輿境内巡行

宮山神輿愛好会



相模國
一之宮

寒川神社例祭

寒川神社事務所 ☎0467751004

